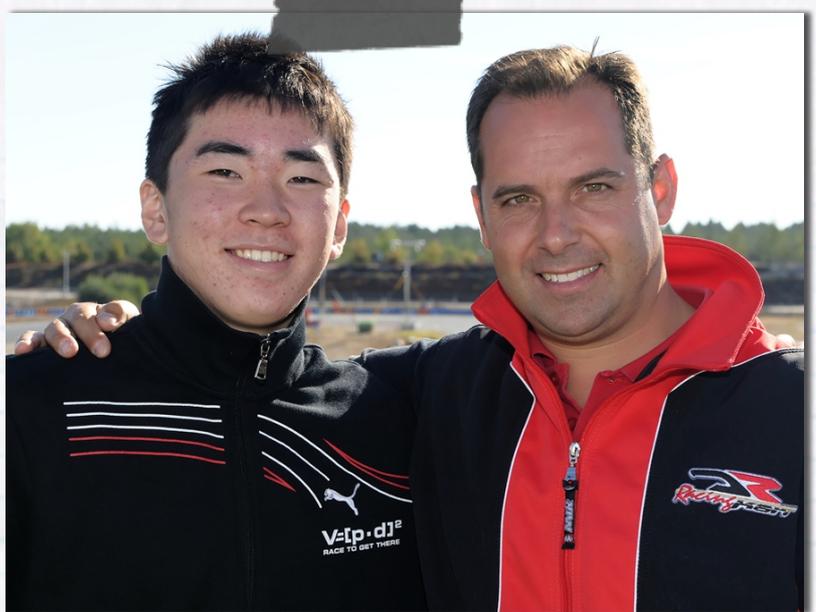


ROTAX EURO RD.4

ユーロシリーズ最終戦

12-16.SEPTEMBER.2012

今回もザルツブルグからサルブリスまで1000km以上の道のりをチームの皆と移動だ。このコースは一昨年の開幕戦で走っていて好きなコースのひとつだ。事前練習は出来ず、レースウィーク水曜からの走行となった。路面ができあがる木曜は主にシャシーセッティングに終始した。金曜日、公式予選前の2回の走行でようやくパッケージもまとまった。【公式予選シニア3グループ9位/3グループ総合19位（49台中）62秒486（トップとの差0.509秒）】タイヤが一番良い周回でうまくスリップストリームに入れたが、最終コーナー手前で前車がスローダウン、結果的に引かかった0.15秒ほどのロスで7番ほど失った。予選はここ3戦連続のD組。【予選ヒート各9周・C+D8番手スタート17位（6周目R）D+E7番手スタート7位・A+D8番手スタート9位・B+D8番手スタート9位 予選総合22位】1ヒート目のリタイヤは、追い上げの際に少しムリをして攻めてチェーンが外れてしまった。監督から「もう少し抜き所を考えろ」と注意を受けた。土曜日はシャシーセットを調整しながらの予選だったが、その他に直線で前車に離さ



れてしまうという問題も抱えており、なかなか思うように順位を上げられなかった。【プレファイナル（13周）22番手スタート13位・ファイナル（16周）13番手スタート28位】プレファイナルはスタート直後インに切り込み、危険な混乱もかわして、前半はうまく順位を上げられた。後半接触があり少し順位を落としたが、何とか戻して13位チェッカー。ファイナルに向けては、マシンセットも良いと

スタート。それに、前に控える有力選手のほとんどがプレファイナルでニュータイヤを入れていたのに対し、ファイナルでニュータイヤ投入の自分には、かなりのアドバンテージだったのでチーム全体的に期待感が大きかった。しかしその希望もスタート直後、後続に追突されてのスピニアウトで全て失った。再スタート後はタイヤは汚れきっていたが皮肉にもこの週末で一番スピーディーだった。本当に辛い結末になってしまった。



EUROシリーズ4戦はあっという間に終わったという印象だ。アンスト監督、ウィルメカニックお疲れさまでした！



ユーロシリーズを応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。今季は良いリザルトに結びつかず苦勞も多



かったですが、その分色々な面で自分なりに成長できたと感じています。これからも見守ってください。宜しくお願いします！